

令和5年4月10日 受付

第 号

相互提案型協働事業実施報告書

令和5年 4月 10日

(宛先) 座間市長

団体 住所 座間市  
 名称 座間子育て応援プロジェクト!  
 代表者名 代表 高澤真奈美  
 市 担当課名 こども未来部 こども家庭課  
 所属長 曾我豊一



次のとおり報告します。

1 事業名	子育て家庭が暮らしやすい環境づくり支援事業
2 事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体提案協働事業 <input type="checkbox"/> 市提案協働事業
3 選考年度	令和3年度選考 ( 令和4年度実施 )
4 報告期間	令和4年 4月 1日 から 令和5年 3月31日 まで
5 事業費	520,987円 (うち座間市支出分 500,000円)
6 事業概要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	<p>イベント事業では夏(オンラインとリアルハイブリッド)、冬(リアルのみ)と2回開催し計600名近くの子育て家庭に参加していただきました。またこのイベントでは、ファミリーサポートセンター、病児保育、支援センター、居場所事業の市民活動団体、子ども会育成会連絡協議会の方地域資源の情報発信と団体や個人の横のつながりを作ることもなりました。</p> <p>国際交流では、NPO法人Sharing Caring Cultureの三坂講師を招き勉強会を開催しました。イベントではスリランカ、アメリカ、中国出身のママが運営側に参加していただきイベントを開催できました。</p> <p>ホームページ事業では、子育て応援ひろば「ざますく」を運営してきました。アクセス数は月2000アクセス以上です。また、行政発の子育て情報集約「ちやいZAMA」ができたことにより、「ざますく」の「行政サポート」ページはその役割を終えました。今後は地域のつながりを掲載するコラム、学び、居場所情報を提供していきます。</p>
7 添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input type="checkbox"/> 事業記録写真 <input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input type="checkbox"/> 作成した冊子などの資料 <input type="checkbox"/> その他 ( )

相互提案型協働事業評価シート

事業名	子育て家庭が暮らしやすい環境づくり支援事業
-----	-----------------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	所期の目的は、十分達成できましたか。	
	達成できたと考えます。	情報発信やイベント開催などを適切に実施し、子育て家庭が暮らしやすい環境づくり支援を十分達成した。
事業成果・効果	事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。	
	<p>ホームページでは、行政が運営する子育て情報集約ページ「ちやいZAMA」ができたため当団体の行政サポートページはその役割を終えました。月 2000 アクセスまで伸び、徐々に閲覧者が増えています。</p> <p>イベントでは12月に子育て家庭が参加しやすいさま KOP フェスを開催しました。165組の子育て家庭が参加し、他団体との繋がり、病児保育、ファミサポなどの情報の発信に役立ちました。</p>	<p>来場型のイベントとオンラインイベントを他の市民団体等を巻き込んで開催することで、市民にニーズのある情報を提供したり、参加者同士が交流したりする機会を作ることができた。</p> <p>また、外国にルーツを持つ方の交流の場を設けた。</p> <p>子育て情報ウェブサイトを使って、民間・行政にとらわれない幅広い情報を発信し、昨年度に比べても多いアクセス数を記録した。</p>

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。	
	できたと考えます。	日頃から連絡を密にし、事業目的や課題に対する共通認識を持つことができました。

事業の進行管理	進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。	
	できたと考えます。	新型コロナウイルス感染症対策により各会場での対応が異なる中、イベントの趣旨等を確認しつつ、内容を適時見直しを行いながら事業を進行管理した。
対 等 な 関 係	協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。	
	できたと考えます。	それぞれの立場から意見を出し合い、対等な関係で協議することができた。
相 互 理 解	相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。	
	できたと考えます。 当団体の理解不足もあり、迷惑をかける部分もあったと思われます。	お互いの強みや特性を生かしながら、事業を実施することができた。

### 3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果たすことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	(団体の役割) 当団体インターネット媒体を活用した子育て家庭向けイベントや講座情報の発信 子育て家庭を対象としたイベントの企画開催	(市の役割) 広報 会場の確保 参加者申し込みの受け付け 会場の設置 市の子育て情報提供

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	お互いの強みを生かせる、適正なものだった。
	適正であったと考えます。	
実施結果	設定した役割分担を果たすことができましたか。	一定の役割を果たすことができた。
	果たすことができたと考えます。	
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	実際に座間市内で子育てをしている親の目線から、細かい子育て世代のニーズに沿ったイベントの企画、情報の発信をすることができた。
	<p>行政発の情報集約ページ「ちゃいZAMA」の公開は喜ばしいと思いました。</p> <p>イベントなどの情報発信では子ども政策課にサポートしてもらい、当団体が行う以上のものができたと考えます。</p>	

#### 4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	<p>(団体の考え)</p> <p>ホームページ事業では行政の「ちゃいZAMA」と連携しながらも、当団体では子育て家庭の「声」「経験」をコラムにすること、地域の子育てサポーターや居場所の紹介、これまで当団体が蓄積したオンライン講座の学びなどを広く公開するなど、子育て家庭だからこそその特色を活かしたホームページを地域と協力して作成していきます。</p>	<p>(市の考え)</p> <p>子育て世代が暮らしやすい環境づくりには、現役で子育てをしている方の意見を取り入れることが欠かせないため、市民の意見を取り入れる仕組みづくりを構築し、意見を反映した事業を実施していくことが望ましいと考えます。</p>